

授業科目名 (講義題目)	管理会計		開講学期 単位数	後期 2単位
担当教員	大下 丈平		講義コード	科目区分 対象学生
			18176034	
開講予定日	① 10/4 ② 10/11 ③ 10/18 ④ 10/25 ⑤ 11/1 ⑥ 11/8 ⑦ 11/15 ⑧ 11/29 ⑨ 12/6 ⑩ 12/13 ⑪ 12/20 ⑫ 1/10 ⑬ 1/17 ⑭ 1/24 ⑮ (試験) 1/31			
履修条件	特になし。	キーワード	管理会計、原価計算、マネジメント・コントロール、ガバナンス	
全体の教育 目標	企業の計数管理の諸問題を考察するための基本的なフレームワークを獲得する。	個別の学習 目標	管理会計の基礎知識を獲得し、それを応用する力を付ける。	

## 授業の概要

本講義案のスケジュールの基礎となっている構想を簡単に述べておきたいと思います。まず、一定の企業組織コントロール論の方法から、コントロールのマトリックス構造を階層的な意思決定のレベルとコントロールのプロセス（目的設定、制御、事後評価）の2つの軸で描き出し、そのマトリックスを構成する各セルから惹起される情報要求の多様性に応える企業組織の経済的なモデル化の方法（これが管理会計の本質と考えられます）を学ぶことになります。これによって、企業の計数管理の諸問題を考察するための基本的なフレームワークを獲得することができるでしょう。そして、そのフレームワークに基づいて、まず講義の前半は成果計算のための歴史的な全部原価を使った種々の原価計算方法と標準原価（予定原価）を解説します。そのあとトピックスとして、京セラのアメーバ経営における原価計算方法の解説を挟んで、後半は損益分岐点分析、予算管理、部分（直接）原価、戦略的全体原価としての原価企画、設備投資の経済計算、そして最後にバランスド・スコアカードを順次取り上げていきます。

講義全体を通して、マネジメント・コントロールと管理会計の関わりを問う試みをおこなっていきます。複雑で、混沌としたマネジメント世界を管理会計の視点から解き明かす冒険に皆さんとともに出かけてみたいと思います。

## 授業の進め方

管理会計という学問の性格上、いろいろな企業のケースを取り扱うことよりも、種々の原価計算の方法、原価や収益の分析方法の解説に焦点が当ることになるでしょう。授業は基本的に講義形式で行います。また授業ではパワーポイントを活用する予定です。パワーポイント原稿などを、できる限り事前に皆さんへ配布する予定です。

(受講上の注意)

①少なくとも簿記会計の素養があることが望ましいでしょう。

②各回において使用する参考文献などは、変更されることがあります。その場合には、すぐに皆さんにお知らせいたします。

## 教科書および 参考図書

授業スケジュールに示した参考文献を参照してください。参考文献は事前にすべて読んでおく必要はありません。どうしても読んでほしい文献は、可能な限りこちらで用意する予定です。

## 試験・成績評 価の方法等

学期末の試験及びレポート（70%）  
授業への参加・貢献（30%）